

ソーシャルボンドファクトシート

ポジティブな社会的成果のためのプロジェクトへの融資

IFCのソーシャルボンド： 包摂的かつ公平なインパクトの促進

IFCのソーシャルボンドは、新興市場における社会的、経済的、ジェンダー平等を促進するプロジェクトへの投資機会を投資家に提供します。ソーシャルボンドは、私たちの借入戦略の不可欠な部分です。IFCのソーシャルボンドは、資金調達プログラム全体と統合的な優先無担保債務 (senior unsecured debt) として発行されます。

IFCは民間セクターと協力して、医療、教育、手頃な価格の住宅、金融、衛生などの重要な分野に焦点を当てたインパクトのある投資機会を創出しています。私たちのソーシャルボンドは、十分なサービスを受けていない人々に直接利益をもたらすプロジェクトに資金を提供し、国連の持続可能な開発目標の達成に貢献します。

IFCのソーシャル・ボンド・プログラムは、2017年に初の米ドル・ソーシャル・ボンド・グローバル・ベンチマークの発行により開始されました。それ以来、IFCは、公募債および私募債市場において、さまざまな通貨や期間のソーシャルボンドを頻繁に発行しています。このプログラムは、国際資本市場協会(ICMA)が発行するソーシャルボンド原則に沿っています。

17年度から23年度にかけ、IFCは65億ドルを調達

88本のソーシャルボンド

14の通貨

ソーシャルボンドの収益の用途

ソーシャルボンドによる調達資金は、以下の分野において、ポジティブな社会的成果をもたらすプロジェクトに充当されます。



インクルーシブ (包摂的な) ビジネス

「経済ピラミッドの底辺」に暮らす人々に対して、生計の機会を提供し、アクセスギャップを埋めるような企業向けに融資をします。これらの企業は、商業的に実行可能な方法を用いてサプライヤー、従業員、流通業者、小売業者、顧客としてバリューチェーンの統合に寄与しています。



女性のための銀行融資

女性が経営する企業に資金を貸し出すことを条件として、金融仲介機関向けに融資をします。



ソーシャルボンド原則対象事業

ICMAソーシャルボンド原則に定める基準を満たすプロジェクトへ融資をします。

IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに焦点を当てた世界最大規模の開発機関です。IFCは100カ国以上で活動し、自らの資本、専門知識、影響力を行使して、発展途上国において新たな市場と機会を創出しています。2023年度に、IFCは途上国の民間企業および金融機関向けに過去最高の437億ドルをコミットしました。IFCは各国が世界的な複合的な危機に立ち向かう中、極度の貧困を削減し、繁栄の共有を促進するために民間セクターの力を活用しています。

IFCの23年度発行事績



\$1.2

十億米ドル

15

本

5

通貨

開示・報告

IFCは、ソーシャルボンドの調達資金の対象となるプロジェクトのリストを、グリーンおよびソーシャルボンドインパクトレポートを通じて毎年公表しています。このリストには、プロジェクトの概要説明、資金提供額、予想される環境への影響、および関連する公開文書へのリンクが含まれています。

私たちの提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、住みやすい地球上における、①極度の貧困の撲滅及び②繁栄の共有の促進です。
- IFCは、開発途上国の民間セクターへの投資を通じて、持続可能な成長を促します。
- IFCは、60年以上に亘って、新興市場における経済成長と発展を支援するために、資本市場における資金を動員してきました。
- IFCは、経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環に対抗する（カウンターシクリカルな）役割も果たしています。
- また、IFCは、再生可能エネルギー、農業、健康、教育、金融市場など、幅広いセクターで発展途上国にアドバイザーサービスを提供しています。

IFCは、ソーシャル・ボンド・プログラムを通じて、市場初の(SOFR)変動金利債(FRN)を発行し、5億ドルを調達しました。この期間2.5年のソーシャルボンドは、将来の健康危機に適切に対処するための強靱な保健システムを構築するというIFCの長期戦略に焦点を当て、新興市場国の十分なサービスを受けていない人々を支援するものです。IFCは、国際機関部門のソーシャルボンド・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。

IFCは国際機関部門のソーシャルボンド・オブ・ザ・イヤーを受賞、
[Environmental Finance's Bond Awards 2022](#)

この文書は、IFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

Photo credit: IFC

AAAであるIFCの強み

- 株主は186カ国の加盟国政府であり、資本金の50%以上をAAA/AA格の国々が出資
- 設立（1956年）以降の着実な利益による内部留保の蓄積により、強固な資本基盤を確立
- 非常に保守的な流動性カバレッジ比率(LCR)とレバレッジ比率を備えた実質的な流動性バッファを有する
- グローバルな資本市場において多様な投資家へのアクセスを有する
- 世界117カ国、1,900社以上の企業に投融資を行い、高度に分散されたポートフォリオを有する
- 1989年の最初の格付取得以来、S&Pとムーディーズより一貫してAAA/Aaaの格付評価を維持
- バーゼル規制の下でIFCのリスクウェイトは0%

IFC財務部門の連絡先

資金調達グローバルヘッド

Flora Chao | fchao@ifc.org

ワシントンD.C.

Yuri Kuroki
Head of Funding - Americas
ykuroki@ifc.org

Zauresh Kezheneva
Financial Officer
zkezheneva@ifc.org

ワシントンD.C. IR

Ayelet Perlstein
Head of Investor Relations
aperlstein@ifc.org

Obert Limbani Associate
Financial Officer
olimbani@ifc.org

Marsha Monteiro
Financial Analyst
mmonteiro@ifc.org

ロンドン

Elena Panomarenko
Head of Funding - Europe
epanomarenko@ifc.org

Roland Maassen
Associate Financial Officer
rmaassen@ifc.org

IR

Laura Stirling
Digital and Communication
Coordinator
lstirling@ifc.org

シンガポール

Marcin Bill
Head of Funding - Asia
mbill@ifc.org

Hiroyasu Hirano
Financial Officer
hhirano@ifc.org

東京 IR

Kenji Kanamoto
Senior Financial Officer
kkanamoto@ifc.org